

2024年度第一回幹事会資料

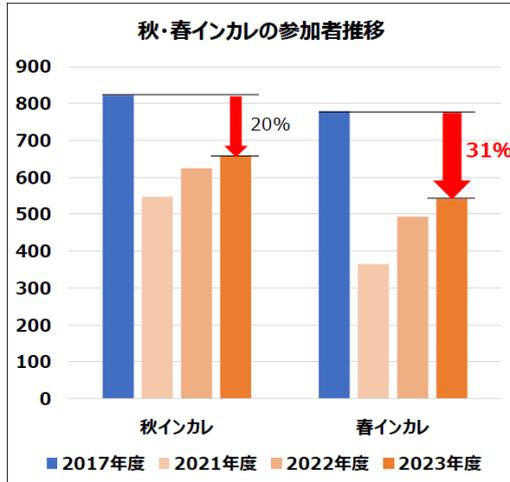
目次

2.春インカレ幹旋について.....	2
3.YMOEとの契約内容について.....	5
5.インカレ枠配分改正について.....	7
6.部局報告.....	9

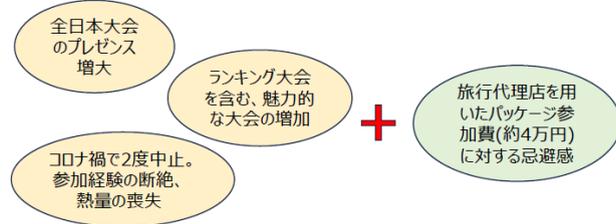
2.春インカレ幹旋について

春インカレ改革検討：議論の起点

2023年度現在、学連加盟員数はコロナ禍以前の水準に戻りつつあるのに対し、春インカレの学生参加者減少が著しい。このため、幅広い参加者層によって支えられていた「学生選手権」としての価値観・存在感を失いつつある。



春インカレを取り巻く状況



本議論の趣旨

学生・大学日本一を決める「選手権」としての春インカレ復権を目的とし、幅広い参加者を集めるための改革を行う。今回は参加ハードルを下げるための参加費にフォーカスし、今後の開催方向性を定義する。

春インカレ改革検討：春インカレ特有の課題

現在の春インカレは旅行代理店を利用することで進行上のトラブルリスク低減・運営負荷の適正化を実現している。そのため、参加費低減目的の安直な「旅行代理店利用の廃止」は春インカレの継続性自体を脅かす可能性がある。

	春インカレ	秋インカレ	全日本大会	クラブ対抗7人リレー	春インカレ特有の課題 (=旅行代理店を利用する必要性)
開催形態	2日間 (ミドル・リレー)	2日間 (スプリント・ロング)	2日間 (ミドル・ロング)	単日 (リレー)	<ul style="list-style-type: none"> 良質なミドル・リレーを両立するための、テレイン/会場/駐車場の確保 初日後のリレーレイアウト設置、リレーの早朝スタートによる強いスケジュール制約
開催主体	インカレ実行委員会 (経験が浅い若手主体)	インカレ実行委員会 (経験が浅い若手主体)	全日本大会 実行委員会 (事業者を含む、経験豊富なメンバー主体)	NishiPro (事業者)	<ul style="list-style-type: none"> 動線が複雑なため、参加者の動向把握のニーズが高い 経験が浅い若手のボランティアが主体のため、運営負荷をこれ以上高めるとは大会維持の観点から困難
付帯イベント	<ul style="list-style-type: none"> モデルイベント 開会式 後夜祭/講習会 	<ul style="list-style-type: none"> モデルイベント 	<ul style="list-style-type: none"> モデルイベント 	<ul style="list-style-type: none"> アフタートレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> 前日イベント（モデルイベント/開会式）と後日イベント（後夜祭/講習会）の存在に伴う、参加者動線の複雑化

春インカレ改革検討：アレンジ可能な領域とトレードオフの条件

旅行代理店を利用した宿泊・輸送斡旋の中止した際に生じる制約条件を踏まえ、春インカレの継続性を脅かさず実現可能な改革案を検討する。

	旅行代理店利用により担保される要素	変革方針
テレイン選定	良質なミドル・リレー2日大会を実現するための、テレイン・会場・駐車場の確保	会場・駐車場を確保できるテレインのみで開催 ※三河高原牧場のようなテレインはテレイン選定から外れる可能性がある ※会場と駐車場が離れている場合、会場・駐車場間のみ輸送を外部委託する選択も可能
動線管理	モデルイベント・開会式 - ミドル・リレー - 後夜祭・講習会 にまたがる複雑な動線の確保	<ul style="list-style-type: none"> モデルイベント/開会式の必須開催解消、もしくはオンライン化 後夜祭/講習会開催の学連主催化 ※本点は現行通りだが、後夜祭会場の手配のみ外部委託する選択肢も可能
トラブル対応	宿泊、輸送に関連するトラブルリスクの低減 ※トラブル対応により実行委員会側の運営負荷をこれ以上高めるのは大会維持の観点から困難	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会は宿泊・輸送に一切関与せず、各大学の責任にて手配する 当日に災害、事故等を含むトラブルがあったとしても原則救済はしない

春インカレ改革検討：日光地区の特性を踏まえた春インカレ2024の方針

トレードオフの条件を踏まえれば宿泊輸送斡旋なしでの開催は可能、しかし2024年度春インカレを予定している日光地区では取り巻く特殊な状況を踏まえて、以下の方針で開催検討を進めるものとする。

日光地区を取り巻く特殊な状況

日光地区とは長年観光協会と宿泊斡旋を通じて良好な関係を維持してきた

↓

日光は観光協会の力が強いので

「いつも来ているオリエンテーリングのひとたち、今年もやっているようだけど来なかったな…」

と思われる、地元心象がこじれるリスクがある

※日光観光協会とは「旧日光市街エリア」を指し、鬼怒川エリアなどは範囲外

↓

【上記を踏まえたICMR2024適用案】

- 交通斡旋は実施しない
- 宿泊斡旋は実施する

春インカレ改革検討：2025年度以降の春インカレの開催方向性

2024年度の変更への反応を注視しつつ、2025年度以降の春インカレでは以下の方針で開催を検討していく想定。

2025年度以降の春インカレ開催方針

- ① 旅行代理店による宿泊・輸送斡旋をしない
- ② モデルイベントは開催必須とせず、実行委員会の開催判断に委ねる

※開会式・後夜祭・講習会はインカレ本体と切り離し、学連による主催が可能な場合のみ開催可とする

【制約条件】

上記方針に賛同する場合は、学生加盟員側は以下条件を受け入れるとする

- 会場/駐車場の確保を優先したテレインの選定
- 宿泊、輸送の確保は各大学の責任にて実施する
- 宿泊施設の確保、会場への移動中のトラブル、またそれらによりスケジュールを守れなかった場合等も、実行委員会側からの救済は原則実施しない

【参考】

上記方針の場合、春インカレ参加費は1万円前後になると見込まれる

※これまでにない形式のため、実行委員会にて予算を組んだ際に参加費が変動する可能性あり

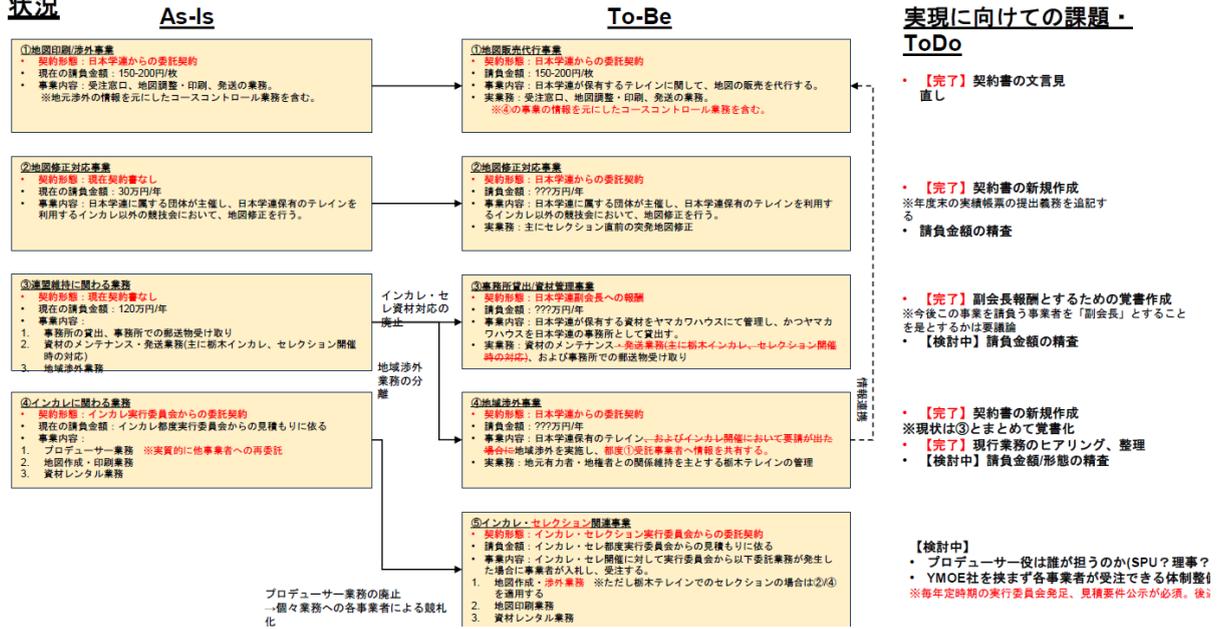
※当然宿泊等の要否は各団体に委ねるため、その費用は含まない

	項目	単位	金額
必須	① 基本参加費	選手	1人 8,500円
		チームオフィシャル	1人 8,000円
	② 宿泊費・輸送費	2泊・1人	32,700円
追加	③ ミドル・デスタンス競技「選手権の部」登録費	1人	+1,500円
	※ リレー競技「選手権の部」登録費	1チーム	+4,500円
任意	⑤ Eカードレンタル	1人	+500円

2023年度春インカレ参加費内訳

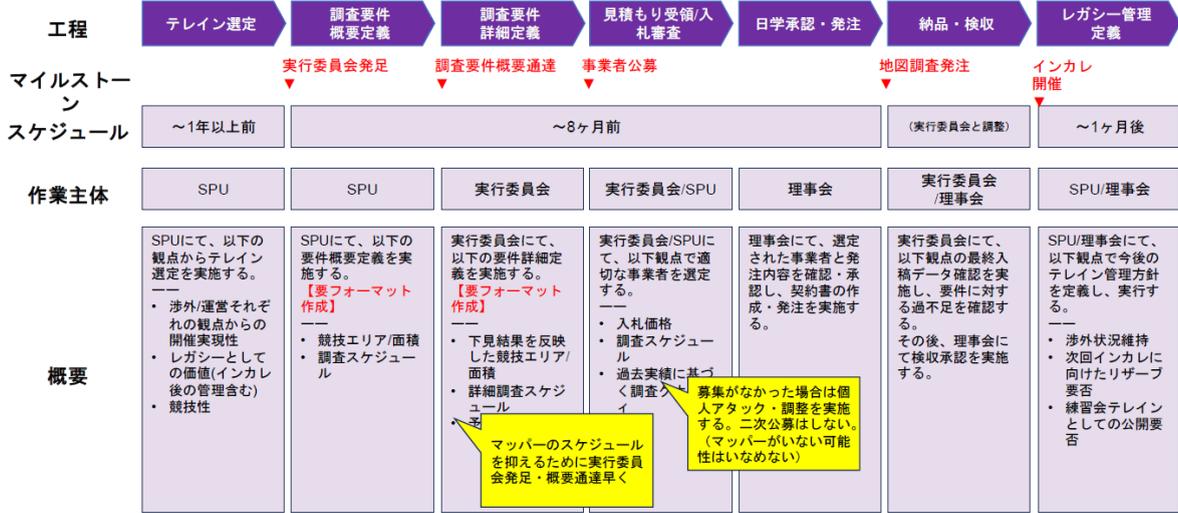
3.YMOEとの契約内容について

脱YOME体制へのロードマップと進捗状況



インカレ地図作成業務の公募化に向けた各工程スケジュール検

討(案)ストーンを主軸として公募・発注に関するスケジュール/作業主体を明確化し、インカレ地図作成業務の安定化を目指す



※調査要件概要通達/事業者公募は理事会より、事前に登録された事業者へ、
競合業務要件をメール/オンラインにて通達する

地域渉外業務引き継ぎに関する課題・NEXTアクション案

アクション案

事業引き継ぎ筆頭候補(?)である高野氏に課題ヒアリングを実施し、以下の課題感を提言していただいた。

【課題①】そもそも渉外対象が不明瞭

→ 渉外業務の具体内容を可視化する

【タスク】

山川さんに渉外相手のリストアップと分類を依頼【2023/11末日処】

【課題②】渉外業務のタイミングが不定期で、随時の対応が困難

→ 練習会申請の締切に数ヶ月のゆとりをもたせ、3ヶ月程度の期間分をまとめて渉外可能な仕組みにする

【タスク】

1. 日学地図の申請方式を見直し：定期日程での締め切り定義&申請フローのマニュアル
... 渉外部局に依頼【2023/12末日処】

② 申請方式について、学生への説明/広報【2024/3末日処】

③ 新申請方式の適用【2024/4以降】

地元に住んでいるひとがいいよね
→各々の事業者で要件を満たせる形を考えて、こちらからも提案していく。

駒ヶ根はYMOE単独
はなのこは日学+岐阜県協会
青山は日学

5. インカレ枠配分改正について



学生日本ランキングに関して



日本学生オリエンテーリング連盟 技術委員会
2024/6/xx

the inter-University Orienteering Federation in Japan All Rights Reserved.

本発議の背景



▼背景

6/8 に実施されたJOA総会にて、以下の内容が決議される可能性大とのこと。

2025年度より、女子についても日本ランキングはポイント上位3レースを算出対象とする。

(現行は男子対象3レース/女子対象2レース)

↑
については、2025年度以降の枠配分制度について、日本学連内で再度議決を採る必要がある。

↑

全日本委員会・アスリート委員会・女性委員会で特に反対はなく、余程の反対意見が出なければ改正されるだろうとのこと。

▼決議が為された理由

- 算出対象2レースより3レースの方が実力をより正確に反映する

↑

現時点で聞いている理由。決議が為された後に、改めてヒアリング。

投票内容



以下のいずれかを選択する必要がある。

1. 日本ランキングと全く同じ仕様とする

将来的に日本ランキングに仕様変更があった際も、原則変更後の仕様に則る。

【メリット/デメリット】

- 今後も日本ランキングの仕様改善に乗ることができる
- 対象レースを3本揃えられる場合、対象が2本のときより正確に実力を反映する (レース格差が小さくなる)
※3本揃えられない学生多数の場合、逆に正確に実力を反映できない恐れ
- コスト 低；初年度10万円のみ

2. 基本的に日本ランキングと同じ仕様だが、女子の算出対象レースのみ2レースとする

今後は日本ランキングの算出ロジック変更のみ受け入れる。

その他の仕様変更を受け入れるかは、都度日本学連内で議論が必要。

【メリット/デメリット】

- 仕様変更が重なるにつれ、仕様が日本ランキングと徐々に乖離していく
- コスト 中；初年度10万円+2年目以降5万円/年

6.部局報告

部局	今まで	これから	相談・共有事項
幹事長	<ul style="list-style-type: none"> ・幹事何人かと話した ・企業案件x2 	<ul style="list-style-type: none"> ・残りの幹事と話して業務を把握する ・企業案件の続き ・規約などの点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・規約の確認や、ラーンOのことを考えてくれる人を募集 ・練習会の集計を見たい
副幹事長			忙しい部局等あればお手伝いするのでお声がけください
会計 会計監査			
事業部	<ul style="list-style-type: none"> ・幹事会交通調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回幹事会とりまとめ ・秋インカレ振り返り 	
広報部	<ul style="list-style-type: none"> ・HP更新 ・X、UNIVASによる広報 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の幹事会、総会の議事録の掲載 ・みちしるべ校閲、広報 ・いぶき発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新箇所があれば言ってください
普及部	<ul style="list-style-type: none"> ・マナー講習のお願い 	<ul style="list-style-type: none"> ・みちしるべのインタビュー等 ・日学賛助会員の募集 	
渉外部	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧の作成 ・テレイン申請書の受け取り 		
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員募集開始 ・加盟登録関係 最終締め切り設定、学連登録案内通知作成、承認作業 ・加盟登録中断申請 14件書類の郵送廃止 ・合同加盟申請 9件周知、申請書作成 ・後援申請 2件 (・企業案件 2件) ・メール対応など 	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟登録関係承認作業の続き、JOAへのリスト送信、加盟費入金確認 ・合同加盟関係インカレ実行委員会への連絡 (・企業案件 続き) 	
技術委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・枠配分改正対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度推薦者の確認 ・枠配分規則の改正 ・学連合宿対応？ 	
北東	<ul style="list-style-type: none"> ・学連登録 ・ロングセレ、スプセレに関して実行委員長と連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一回総会 ・規約、業務の修正・再編 ・北東学連夏合宿を開催するか 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年規約や業務を修正・再編した学連はありますか？
関東	<ul style="list-style-type: none"> ・幹事会x2 ・第一回定期総会 ・学連登録関係 ・今年度の対抗戦・定例戦の方 	<ul style="list-style-type: none"> ・対抗戦・定例戦の本格的始動 ・新人戦 ・セレクションの推薦枠数 	特になし

部局	今まで	これから	相談・共有事項
	針ぎめ ・第一回臨時総会 ・セレクションの推薦枠数に関する規約改正(ロング・スプリント) ・ペアO準備 ・ペアO開催 ・第二回定期総会	に関する規約改正(ミドル)	
北信越	・セレ併設の依頼		
東海	・学連登録 ・定例戦の準備 ・ロングセレの代表選手選考のガイドライン作成	・総会の準備 ・ミドルセレクションの準備	
関西	・第1回総会 ・学連登録関係	・加盟登録費振込 ・第2回総会準備	
中九四	・学連登録	・総会準備	
理事(浴本)	・インカレ地図作成の競礼事業	春インカレの地図作製事業者の決定	
理事(稲田)	・WUOC関連の事務作業、派遣業務の体制構築(JOA強化委員会への移管)		